

News Letter

Vol.81 Autumn
2026.9月

細谷隊員 活動報告

8月は、主に圃場の草刈りやアスパラの防除作業をおこないました。先月には町内でおこなわれたアスパラガス講習会にも参加し、町内外のアスパラガス生産者と一緒に、病害虫の種類や発生しやすい時期、防除の方法などについて学びました。

夏場は気温が高く、雑草の生育も早いため、定期的な草刈りが必要になります。また、病害虫をそのままにしておくと生育不良や収量の減少につながる可能性があるため、日頃から作物の状態を観察し、早めに対応することの重要性を実感しました。

こうした日々の管理は、安定した農作物の生産につながるだけでなく、地域の農地を維持し、耕作放棄地の増加防止や景観の維持にもつながると感じています。

暑い中での作業となりましたが、講習会で学んだ事や地域の皆さんから教えていただいた事を活かして今後も適切な圃場管理に取り組んでいきたいと思ひます。



活動の様子



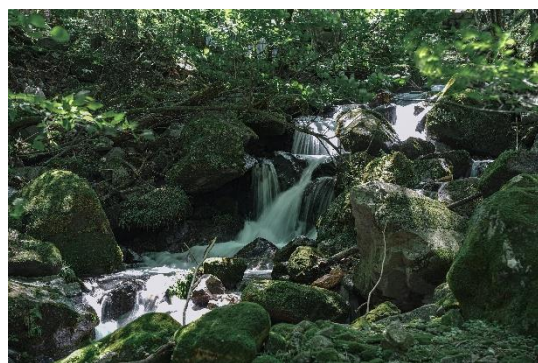
OB 岩崎 活動報告

この夏は、2週間弱にわたって利平茶屋森林公園に泊まり込み、キャンプ場の管理にあたりました。

私たちが管理を始めて最初の夏の繁忙期。県外からも多くのお客様にお越しいただき、大きな事故なく無事に乗り切ることができました。

改めて感じたのは、利平茶屋森林公園の魅力は涼しさや清流だけではなく、ケーブルカー駅舎跡をはじめとした歴史やストーリーも含めて、黒保根町の誇れる場所だと感じています。

そして、地域の皆さんからもよく声をかけていただくのですが、熊本県宇城市にある私の実家も、先日の地震で被災しました。幸い家族や知人の命は無事でしたが、実家は大きな被害を受け、家も崩れてしまいました。自然の中で仕事をしながら、故郷では自然災害の大きさを目の当たりにして、「やっぱり自然には勝てないな」と感じた夏でもありました。だからこそ、今いる群馬・黒保根でできることを一つずつ、これからも地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思ひます。



利平茶屋森林公園の鳥居川



利平茶屋森林公園で焚き火を楽しむお客様

地域おこし協力隊とは：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、地域協力活動や起業・定住に向けた活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。（総務省HPより）

発行/桐生市地域おこし協力隊
担当 細谷